

令和6年4月15日

東京都知事 小池 百合子 殿

武蔵野市長 小美濃 安弘

### 都営水道への早期統合に関する要望

春暖の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。都民の生命と財産を守るため、日々ご尽力いただいていることに敬意を表するとともに、日頃より当市政に対し、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和5年12月24日に行われた武蔵野市長選挙において、14万市民の命を首都直下型地震から守ることを公約に掲げ、市民からの負託を受け第7代武蔵野市長を拝命いたしました。市長就任以来、市民の命を守ることを第一優先事項として市政運営を行っているところです。

さて、令和6年4月1日より、国における水道整備・管理行政が、厚生労働省から国土交通省及び環境省へと移管されました。この動きは、水道事業の広域化を推し進め、国全体の基盤強化を図るとともに、より専門性を活かした水環境への対応を行っていくものと認識しているところです。

当市におきましては、平成24年に策定した武蔵野市第五期長期計画において、水道事業の広域化と基盤強化を目的として都営水道一元化（統合）を目指すことを決定し、平成26年に東京都水道局に対し正式に都営水道一元化（統合）への再要望を行い、約10年が経過いたしました。

この間、東京都水道局と当市との間で実務者レベルにおける協議の場を設置し、統合を検討するに当たっての課題の整理に御協力をいただいております。

折しも当市水道事業においては、令和6年度が通水70周年という節目を迎えます。国における水道行政移管や市長就任というこのタイミングを契機として、新たな水環境の構築に向け、都営水道への早期統合を進めたい所存です。つきましては、下記のとおり要望いたしますので、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 早期の統合に向け、課題への対応について、より一層の御協力を要望します。
- 2 都民全体にとって実りある統合となるよう相互に協力していくことを要望します。